

前沢明峰支援学校

研究テーマ

「児童生徒の自立的・主体的な生活につながる授業実践・指導実践の取組」

1 全体研究

(1) 研究テーマ設定の理由

- ①学校教育目標から
- ②これまでの研究から
- ③校内研究にかかわる職員アンケートから

(2) 研究の内容と方法

- ①研究の基本構想と共通理解
 - ア 第1回 全体研究会：5月27日
 - イ 第2回 全体研究会：2月24日
- ②全体研究テーマに基づく、各学部、寄宿舎の研究計画の作成と推進
 - ア 各学部研究、寄宿舎研究の内容、計画立案
 - イ 各学部研究会（毎月）
 - ウ 寄宿舎研究会（年5回）
- ③授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組
 - ア 授業研究会の開催：年3回（各学部授業提案）
 - （ア）各学部の研究に基づく提案授業
 - （イ）研究内容や推進状況について協議
 - （ウ）助言
岩手大学大学院 教育学研究科
准教授 佐々木 全 氏
 - イ 授業研究会まとめ資料の作成
 - ウ 授業研究会におけるアンケート実施
- ④研究のまとめ
 - ア 第2回全体研究会の各学部、寄宿舎の研究発表及び協議
 - イ 指導助言及び講義
岩手大学大学院 教育学研究科
准教授 佐々木 全 氏
 - ウ 研究集録の作成

2 各学部の研究の主な内容と方法

(1) 小学部

- ①1年次の研究に基づく2年次研究の基本構想と共通理解

②自立活動の視点を踏まえた授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組

③授業づくりシート等の活用と改善

④研究のまとめ

(2) 中学部

①1年次の研究に基づく2年次研究の基本構想と共通理解

②作業学習年間指導計画の作成と作業内容、製品、工程等の見直し

③各教科等の目標・内容を関連付けた作業学習の授業実践とPDCAサイクルによる授業改善の取組

④授業づくりシートの活用と改善

⑤研究のまとめ

(3) 高等部

①1年次の研究に基づく2年次研究の基本構想と共通理解

②各教科等の関連を意識した目標設定や評価を実践し、具体的な子どもの姿を捉えたより効果的な授業づくり

③「観点別」や「各教科等」を意識しやすく、授業改善に活用できる授業づくりシートの工夫

④研究のまとめ

(4) 寄宿舎

①1年次の研究に基づく2年次研究の基本構想と共通理解

②個別の生活指導計画の作成と活用及び評価

③目標達成のための実践とPDCAサイクルによる手立ての改善

④個別の生活指導計画の活用、改善

⑤研究のまとめ

3 研修会

演題：「知的障害教育における教育課程と学習評価—児童生徒の自立的・主体的生活につながる授業づくり—」

講師：筑波大学 人間系障害科学域
准教授 米田 宏樹 氏

期日：令和4年8月2日（火）10:00～12:15

参加者：57名